

2022年度 放課後くらぶひこばえ 事業所自己評価		そう 思う	え ど ち ら か と い う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	改善目標、工夫している点など	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	3	3	2	0	1	・臨時利用や、中高生の多い日は狭さを感じる。 (新館への引っ越しで改善されている) ・狭く感じるため、場所や活動を分けている。
	2	職員の配置数は適切である。	8	1	0	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされている。	3	3	1	0	1	・新しい建物はバリアフリーになった。トイレ介助が必要な子については共用の多目的トイレがあるため、そちらを利用できる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	7	1	0	0	1	・概ねできていると思うが、改善できる余地があると思う。
	5	保護者向けアンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善に努めている。	5	3	0	0	1	年に1回行っている。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やHP等で公開している。	8	1	0	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	2	3	0	0	4	第三者評価は行っていないが、法人全体での外部評価、監事監査、理事会への報告などを行い、業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	7	2	0	0	0	・非常勤職員を中心に、スキル向上に努めたい ・研修計画を作成中
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	9	0	0	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	5	2	0	0	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	6	3	0	0	0	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	6	3	0	0	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	7	2	0	0	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している。	8	1	0	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	7	2	0	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	9	0	0	0	0	
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善につなげている。	8	1	0	0	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	6	3	0	0	0	
	19	自立支援と日常生活の充実のための活動や、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供などを複数組み合わせることで支援を行っている。	6	2	0	0	1	

9	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している。	3	2	0	0	4	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	5	2	0	0	2	
	22	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	1	2	0	0	6	・必要に応じて実施している。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	4	2	0	0	3	・ひこばえmeへの移行は特に、職員が付き添って過ごしに行くなど丁寧に行っている。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	0	3	0	0	6	・状況に応じて。
	25	障害のない子どもと活動する機会がある。	0	2	1	1	5	・新館に移り、学童くらぶの子や自由来館の子どもたちと一緒に、テラスで本を見たり広場で過ごしたりする機会が増えた。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	0	1	4	・児童部会定例会への参加や、地域懇談会へ参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっている	6	3	0	0	0	
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	1	2	1	0	5	・保護者の方からブログで支援のことも発信してはと助言をいただいたので参考にしたい。 ・ケースに応じて対応している。
	29	運営規定・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	4	4	0	0	1	
	30	保護者からの子育ての悩み等の相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	4	4	0	0	1	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	0	0	2	0	7	・企画は行っているが、感染症拡大のため未実施。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	7	2	0	0	0	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	4	3	1	0	1	・ブログの更新の機会が減っている。 ・児童館だよりに毎月記事を載せている。 ・週末に来週の予定をはじめ、お知らせをメール配信している。
	34	個人情報に十分注意している。	8	1	0	0	0	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	7	1	0	0	1	
非常時	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	6	2	1	0	0	・建て替えも終わったので、これから地域交流を進めていく。
	37	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	0	0	0	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている。	8	0	0	0	1	毎月消火訓練と年3回の避難訓練実施
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	8	1	0	0	0	・年2回の虐待防止委員会の開催と研修実施

の 対 応	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載している	8	0	0	0	1	・やむを得ず身体拘束をする場合に備え、法人内での手続きや手順を定めている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	5	3	0	0	1	・母より情報提供を受けて対応している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	2	5	0	0	2	・口頭の共有や日誌に記載していることも多い、所定の様式に記入するように促していく。